

国際大学 INTERNATIONAL UNIVERSITY OF JAPAN

〒949-7277 新潟県南魚沼市国際町777番地
URL: <https://www.iuj.ac.jp/sgu/>



スーパーグローバル大学
創成支援事業公式サイト
国際大学特設ページ



INTERNATIONAL UNIVERSITY OF JAPAN

「世界が集う大学」として 全ての国の利益となる人材育成を目指す

カ地域で最も多く修了生を輩出しているガーナにあるガーナ大学との大学間協定を締結。アフリカでは初となる連携協定であり、同大学で研究科長を務めている国際大学の修了生を客員教員として招へいし、密な教育連携を可能にしている。2019年度に国際経営学研究所が包括連携協定を締結したブレトリア大学 Gordon Institute of Business Science (GIBS)との協働にも注目したい。GIBSはアフリカ最高峰のビジネススクールと称されており、包括連携協定を締結したのは国際大学が日本で初となる。学生交流はもちろん、教職員間の交流機会や共同プログラムの開設など、実践的な学術交流を推進する計画だ。

国際協力・経営人材を育てるグローバルプログラム

多様な国・地域との連携を基盤に、国際大学ならではのグローバルな教育プログラムを整備している。その一つが2018年度に開設した「日



新潟に広がる 圧倒的な国際環境

新潟県に位置する国際大学は、国際関係学と国際経営学の2つの研究科を持つ大学院大学だ。1982年の開学当初から多くの面で国際化を実現しており、現在では常時約60カ国・地域の学生が学ぶ。まさに「世界が集う大学」として、日本屈指の国際

環境の下、世界の多様性を理解・促進するグローバルリーダーの育成・輩出に努めている。国際社会を支える高度な人材の育成は、全ての国の利益（世界益）となり、これからの国際社会の発展に寄与するだろう。

スーパーグローバル大学創成支援事業に採択された国際大学が掲げるのは、「アジアのグローバル・スタンダードを世界標準

本・グローバル開発学プログラム(JGDP)だ。これはJICA開発大学院連携の一環として開始したプログラムで、日本の経験やケース材料として、外交・経済・公共政策などに関する日本型開発の論理と教訓を体系的に学ぶことができる。将来各国のリーダーとなることが期待されている留学生が母国発展の政策/戦略立案に活かすだけでなく、日本人学生にとっても、自国の発展について海外で説明できるようになることを可能とし、国際人材としての活躍の一助となることだろう。

世界を舞台にした教育活動の成果は企業支援という形でも表れている。国際大学では産

業界を支える人材育成に注力しており、特に海外で展開する日本企業への研修活動などを盛んに行っている。国際大学のグローバル人材パートナーシップ企業に向けて、海外現地法人への日本語研修やマネジメント研修を実施。他企業に向けても経営陣を対象にしたマネジメント研修を行うなど企業・自治体とのノン・ディグリー・プログラム(NDP)の充実を図っている。2018年には国際大学が実施する外部研修を統括する国際大学グローバルリーダーシップ開発センターが設立され、一層の進展が期待される。

**世界とつながる
グローバルな日常**

ここまで見てきたように国際大学ではアジア・アフリカ地域との連携をはじめとした日本有数の国際環境の下で数々のグローバル人材育成プログラムを推進している。しかし真に注目すべきことは、多様な人々が集まることよって起こる日常的な異文化共生だ。

「へ」というスローガンだ。アジア地域との連携の下で推進してきた世界に貢献する人材育成の実績を基盤にし、急速に発展するアフリカ地域との関係強化を進めている。また、日本企業のアジア・アフリカ諸国への進出を教育的サイドから支援する国際大学ならではの産学協働も展開している。

圧倒的な国際環境を一層活かした独自の実践により、国際協力・国際ビジネスの現場のさらなる発展に貢献していく。

他大学を牽引する アフリカ地域への展開

近年めざましい成果を出しているのはアフリカ諸国との連携だ。2019年7月時点では、アフリカ地域の40カ国・地域に300人を超える修了生を輩出している。2015年度から開始している「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」では、毎年度国内大学で最多の研修員を受け入れており、今後もアフリカ地域の高度人材育成に期待がかかる。また2017年には、アフリ

世界約60カ国・地域から、将来政府・企業・自治体等のリーダー的存在となりうる人々が集まり、ともに生活しながら国や社会の発展について学び合う。意見や価値観、文化、宗教の違いに日常的に向き合う経験は、地球規模の課題解決能力が必要とされるこれからの社会において非常に重要な力となるだろう。

また、そうして学び合った学生同士のつながりは、貴重なネットワークとして修了後にも活かされるはずだ。国際大学から飛び立った修了生が世界中で手を取り合いながら活動し、自国の国益だけではない「世界益」へ貢献することに期待したい。

